

平成28年度以降の 取組みについて

- ・ 中間検証の結果と市民意見や学識経験者からの指摘事項などを踏まえ、基本的に今までの支援策の方向性を踏襲しつつ、より一層の支援の目的の達成に向け、「更なる安全性の向上」「阪堺線堺市内区間の早期の自立再生」「市全体への効果の波及」の3つの観点で進める。

「更なる安全性の向上」

併用軌道区間の軌道改修が概ね完了し、安全性の確保が図られているが、安全性を継続的に向上していく必要がある



今後は専用軌道を中心に老朽化対策を継続し、阪堺線（堺市内区間）の更なる安全性向上をめざす。

「阪堺線（堺市内区間）の早期の自立再生」

支援策による利用者増加や阪堺電軌の自助努力により、収支改善は図られているが、阪堺線（堺市内区間）の早期の自立・再生を図る必要がある。



阪堺電軌の更なる自助努力を促しながら、阪堺線（堺市内区間）の早期の自立・再生をめざす。

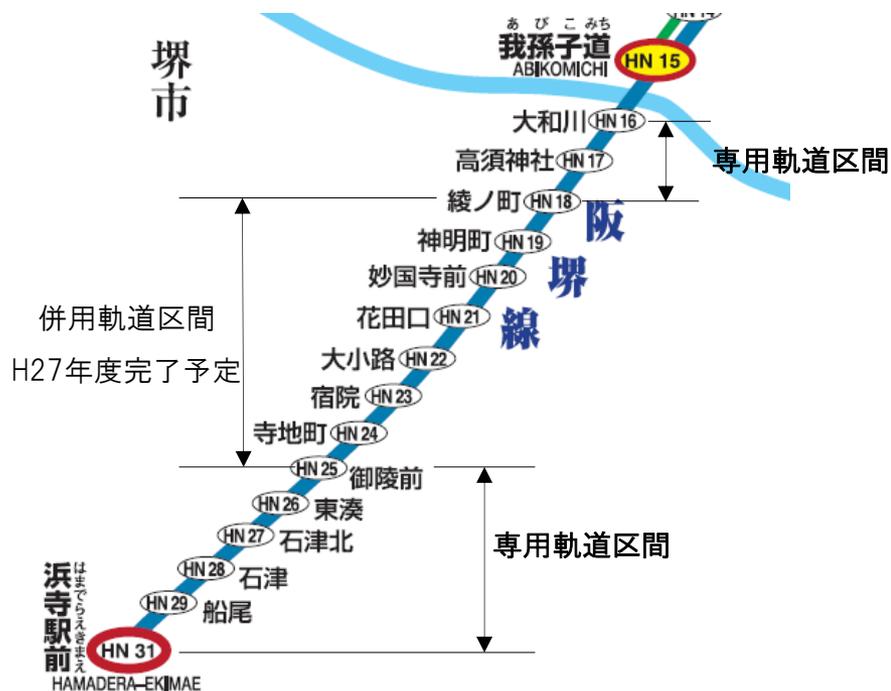
「市全体への効果の波及」

支援策の効果で、阪堺線沿線の沿線活性化に一定寄与しているが、支援効果を沿線だけでなく、市全体に波及させる必要がある。



関連施策との連携や協働を推進し、市全体への効果の波及をめざす。

- 綾ノ町停留場～御陵前停留場間の併用軌道区間は、軌道改修が概ね完了したことから、専用軌道を中心に老朽化対策を実施し、更なる安全性の向上を図る。



<軌道改修内容>

- レール・まくら木の交換
※併用軌道と同様、国費も活用しながら老朽化対策を実施

<軌道改修予定区間>

- 大和川～綾ノ町間
約1,800単m (916m×2)
- 御陵前～船尾間
約5,100単m (2,550m×2)



併用軌道



専用軌道

- ・ より高い利用者増加の目標に向けて、阪堺電軌の自助努力を促す観点から、利用者拡大に対する補助を重点配分する。併せて、目標が達成されない場合は、補助の減額も条件とする。

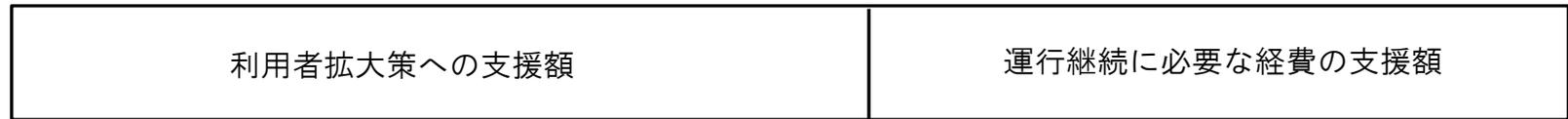
■ 10年間50億円の内訳

- ・ 利用者拡大策と運行継続に必要な経常的経費への支援に10年間20億円（※年間2億円を上限）
- ・ 高度化による利便性の向上と老朽化に伴う施設の改修に対する経費への支援に10年30億円（※国費も含む）

■ 利用者拡大策と運行継続に必要な経常的経費への支援の今後の考え方

年間2億円の上限は変わらず、利用者拡大策への支援額の目標額を高く設定することで、更なる利用者増加により運賃収入（補助金除く）を増加させ、阪堺線（堺市内区間）の早期の自立再生をめざす。

<今までの考え方>

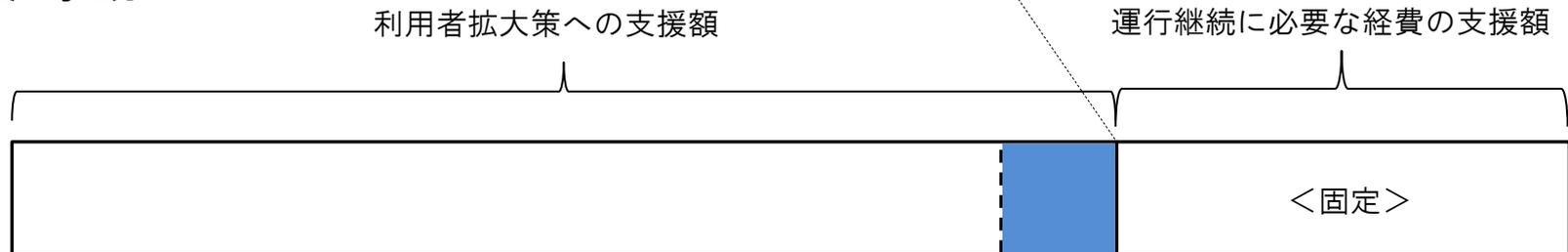


※利用者拡大策

- ゾーンチケットへの支援
- 高齢者利用割引への支援
- 堺市内・大阪市内区間の均一運賃化への支援



<今後の考え方>



目標が達成されない場合は減額

・山口家住宅、伝統産業会館、利晶の杜、南宗寺など沿線の様々な資源や、世界文化遺産登録をめざす百舌鳥・古市古墳群などとの相互連携を強化する。

■これまでの取組み

- 山口家住宅：「福助電車の運行」と「福助人形展」コラボ、おもてなしチケット特典協力
- 清学院：おもてなしチケット特典協力
- 堺伝統産業会館：堺ちん電フェスティバル会場、おもてなしチケット特典協力
- さかい利晶の杜：阪堺線のジオラマ展示、おもてなしチケット特典協力
- 妙国寺：おもてなしチケット特典協力
- 南宗寺：おもてなしチケット特典協力
- 堺アルフォンス・ミュシャ館：おもてなしチケット特典協力
- 自転車博物館サイクルセンター：おもてなしチケット特典協力
- 日本庭園：おもてなしチケット特典協力
- 堺市博物館：堺トラム内でのイベント情報ポスター掲示、おもてなしチケット特典協力



継続・強化

〈以上に加えて〉

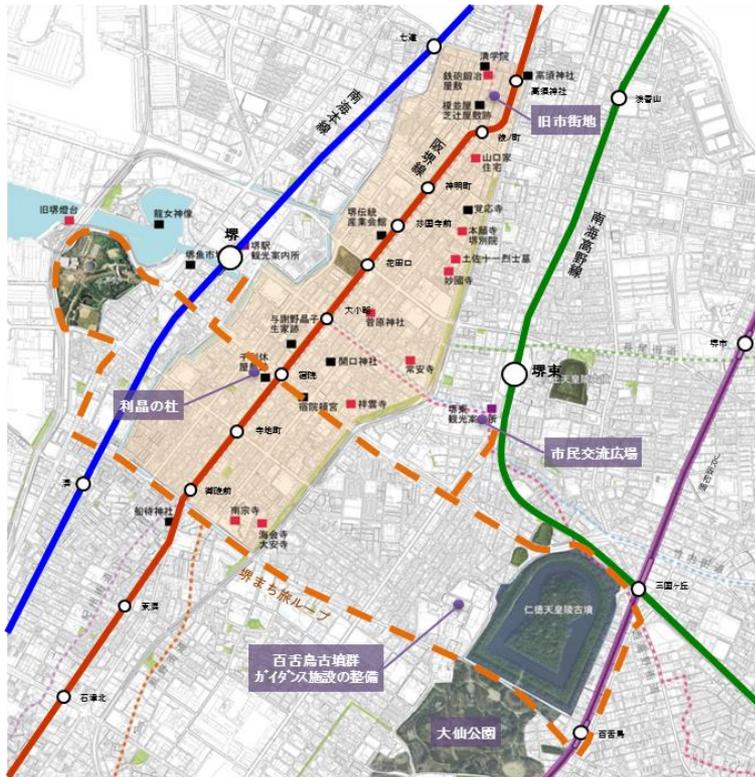
■世界文化遺産登録をめざす百舌鳥・古市古墳群や利晶の杜との連携を展開

- 百舌鳥古墳群や利晶の杜へのアクセスとして、阪堺線をPR
- 堺トラム車内にて、百舌鳥・古市古墳群や利晶の杜、イベントを告知
- 百舌鳥・古市古墳群や利晶の杜についての阪堺電軌自身による広報活動

市全体への効果の波及について（他の交通機関との連携強化）

・堺まち旅ループなど他の交通機関との連携を進め、大仙公園から旧市街地に至る観光エリアでの回遊行動を誘発していく。

- 阪堺線と堺まち旅ループなど他の交通機関との連携を強化
- おもてなしチケットの販売強化などにより、回遊行動を加速
- 関連情報などの発信強化により、誘客を促進



＜参考＞

平成26年度実績

旧おもてなしチケットと堺都心1日フリーの合計枚数

- ・旧おもてなし：4,799枚
- ・堺都心1日フリー：2,500枚



平成27年度（1月末現在）

10,776枚（大人：10,049枚、小児：727枚）



- ・多様な主体が阪堺線との連携に参加・協働ができる機会を増やしていく。



ちん電フェスティバルの様子

沿線でのイベント
だけでなく



- NPO法人堺観光ボランティア協会との連携
- 堺商工会議所との連携
- 公益社団法人堺観光コンベンション協会との連携
- 公益財団法人堺市文化振興財団との連携
- RACDA大阪・堺との連携
- 外国人対応の実施等
- 大道筋まちづくりとの連携
- 大阪市内のイベントとの連携



記念セレモニーの様子